



史蹟史料部

2022 年 6 月 7 日

#6

日本人墓地公園 ニュースレター

先人を偲ぶ集いの場 Memorial Plaza

日本人墓地公園の門に入って進んでいただくと、一番奥にメモリアルプラザがあります。こちらは先人を偲ぶ集いの場として 2002 年に拓かれました。

戦前に多くの日本人が渡来し、当地で命を落とし、この墓地に眠る人も多くいますが、一方で日本人社会に足跡や功績をのこしながらも、ここを永眠の地と成さなかった人もまた多いのです。そのような人々の記録を追跡し、顕彰碑を建てました。

南国の大樹が蔭を落とし、鮮やかな花が咲き乱れるこの碑のある広場が先人を偲び、己の今と行く末に思いを馳せる場となることを願っています。

しあわせは、南の島に宿る。往事、人々はそう信じたのでしょうか。意を決して海へと乗り出し、日本人がこの地へやって来たのは文久年間に遡ります。人々は過酷な海の細道をひたすら耐えて進み、生きる手だてがどこにも見あたらず、諦念の末の行路も時にありました。しかし誰もがこの地で幸せの花を摘もうと夢見て進み、星の港シンガポールはその誰をも迎え入れたのでした。人々はこの島で夢を紡ぎました。

その人々が真摯に生を全うしたその無数の献身があって今、南シナ海に至る海の細道は広く安全で強固な貿易の道へと変わりました。シンガポールと日本、両国関係の礎石となった先人の徳を私たちは忘れません。



日本人墓地がこの地に開基して百三十余年。夢破れた人、功成った人、みなひとしく、星月夜のもと、すでに土に還りました。

私たちもまた心を静め、花に埋もれて眠る人々の霊に祈りを捧げ、先人たちの思いに重ねて、悠久の天空と大海原に向かい、日星両国関係の発展を祈念しています。

出典：「先人を偲ぶ集いの場 Memorial Plaza」
シンガポール日本人墓地公園化事業完成記念号
シンガポール日本人会史蹟資料部
2002年8月22日発行



【碑文リスト】

音吉：シンガポールに定住した初めての日本人

渋谷銀治：日本人共同墓地申請者

中川菊三：日本人共同墓地申請者

山本作次郎：シンガポールで初の日本人歯科医

高橋忠平：呉服屋「越後屋」創始者

福田庫八：「越後屋」の総番頭

江畑弥吉：輸入業「江畑洋行」創始者

梅屋庄吉：孫文支援者

篠崎護：昭南特別市教育課長・厚生課長

谷豊：マレーのハリマオ

佐々木賢一：戦前、戦中、戦後をシンガポールで生きた人

今井小静：日本人墓地内「ひのもと地蔵尊」建立発起人



ご寄付者リストの銘版

墓地の公園化には多くの企業、団体そして個人から寄付を頂きました。日本大使館のご手配で日本国政府からも補助金を頂戴しました。墓地への個人寄付としては多額の寄付を申し出て下さった方がいました。日本人会に退会届を済ませて、デポジットを寄付して下さった会員の方も多くいました。小学校、中学校そして高校の卒業生はポケットからお金を出し合って、持参してくれました。コインのいっぱい詰まった貯金箱も届きました。

100ドル以上の寄付については、ご寄付者リストの銘版にお名前が記載されますので、いつか再びシンガポールを訪れることを期して、当地で生活を送った証を残して置きたいと考える方もいらっしゃいます。

南十字星の空の下、あなたのお名前がこの地に永く残ります。

毎年3月14日の日本人会再発足日に行われる日本人墓地慰霊祭にて、前年1月～12月にご寄付を賜りました皆様のお名前を記した銘版のお披露目を行っています。



日本人墓地公園についての詳細は、以下のリンクよりウェブサイトをご覧ください。

[シンガポール日本人会 | 日本人墓地公園 \(jas.org.sg\)](http://jas.org.sg)

日本人会クラブショップでは史蹟史料部発行のオリジナル書籍を販売しています

戦前シンガポールの
日本人社会

写真と記録【改訂版】

\$42.8

戦前のシンガポールにおける日本人社会の記録と、当時の貴重な写真を掲載した一冊です。ドキュメンタリー番組制作等の資料としても参照されています。

